

あおば2組 1学期の反省

あおば2組担任 加連川そら

4月に進級し新学期を迎えて、3ヶ月が過ぎようとしています。交流学級やあおば2組での新しい生活にも少しずつ慣れ、毎日元気に登校してくる姿が見られます。その元気な姿に毎日元気をもらっています。毎日、登校し、元気に過ごせるのは、保護者の皆様が、温かく子どもたちに寄り添い学校へ送り出してくださっているおかげです。ありがとうございます。

1学期も残りわずかになり、待ちに待った夏休みがやってきます。怪我や事故に気を付けて、楽しい夏休みを過ごしながらかかり学習にも取り組むことを願っています。2学期にまた、子どもたちの元気な姿を見られることを楽しみにしています。

	現状
良いところ	<p>学 音読は苦手な子も多いが、初めて読んだ日と比べると、戸惑う部分はあってもスラスラと読めるようになってきている。</p> <p>行 他の教室を出た後、「失礼します」「失礼しました。」をはっきり聞こえるくらいの声で言えることが増えた。</p> <p>行 「お手伝いをしたい」や「〇〇してもいいですか」と積極的に動く姿が増えた。</p> <p>行 声かけをすると、友達や先生に対して物の貸し借りや「ありがとう。」が4月のころと比べると、いえるようになった。</p> <p>行 給食は最初のころ、残すことはあったが、食べる前に「減らす・増やす」を交流担任の先生に自分から伝え、自分から食べる量の調節ができるようになった。</p> <p>交 4月の頃と比べると、交流学級で学習を頑張る姿が増えてきたり、交流学級の友達と過ごす様子が見られたりした。</p> <p>友 ブロック遊びをする際、組み立てて遊ぶのではなく、友達と仲良く遊ぶ様子がある。</p>
課題と対応	<p>学 学習(掃除など)と休み時間の切り替えが難しく、勉強に入るまでの時間が長い子が多い。 → 絵カードやタイマーを活用して「勉強が始まる時間・活動する時間」を繰り返し伝える。また、休み時間との切り替えができた時は称賛する。</p> <p>行 気持ちが崩れたときや注意されたとき、教師や友達に対して、言葉遣いが悪くなったり、イライラしたりすることがある。 → 自立活動などを通してイライラしたときの行動や言葉遣いについて考える。また、場面に適した言葉遣いや相手への伝え方を繰り返し教えていく。</p> <p>行 他の子が勉強しているときに大きな声・音を出したり授業している子に話しかけたりする。「勉強しなくていいんだよ」「遊ぼう」など。 → 自分の時間(ゆっくりタイム)を過ごす前に「静かに過ごす」ことを事前に子どもたちと約束し、静かに過ごすことができたなら「静かに過ごしてくれてありがとう」と感謝の気持ちを伝えたり称賛したりする。</p>